

料金後納

ゆうメール

MACNEWS

〒616-8156

京都市右京区太秦西野町20

TEL 075-871-0374. FAX 075-882-3777

Eメール mac.terakoya@gmail.com

URL <http://www.mac-terakoya.com>

今月号の内容

65%の子どもは今ない仕事に就く

「2011年秋に小学生になる子どもの65%は今ない仕事に就く」。

(米デューク大学、キャシー・デビッドソン教授)

今後20年間で、大きく職業が変化します。その背景には、ITの影響力の拡大があります。現在の学校教育は、100年以上前から続く制度をそのまま使っており、グーグルで検索すれば誰でも解けるような暗記試験ばかりが重要視されているのです。ITの動きを踏まえ、子ども達にとって何が必要かを真剣に考えるときがきています。

今回はこの続編です。

どれだけ良い大学を出ても就職できない
就職してもすぐに辞めてしまう



この状況を見れば、今までの意識（一流の学校を出て会社に入るのが幸せ？）が如何に時代遅れであるかが分かるのですが、まだ気付かずに、今までの価値観を子どもに押しつけている親が少なからずいるのです。

その価値観を大きく反映させているのが、受験です。
ところが、**受験にも、光と影**があります。

物事がうまく回っているときはいいのですが、そうでない場合もあるのです。即ち、合格しても、不登校になったり、引きこもったり、不安と恐怖から精神疾患を患ったりしている子供がいるという現実です。

皆さんが耳にするのは、光の部分だけと言っても過言ではないでしょう。

影の部分の背景には、親の人生観の押し付け以外に、学歴や立身出世にこだわった教育観、受験のためだけの偏った学力観、そして、子への過剰な期待があります。

ところで、子供たちの学習への取り組みを見ていて、気になることがあります。

例えば、計算問題を解くのに、途中式を書かないことです。その結果、当然なのですが、間違いがとても多いのです。

何度も注意するのですが、一向に直りません。

その心は、「途中式なんて面倒くさい、答えがあってればよい」。

でも、一つ一つの式を積み重ねることで、間違いなく正しい答えを導き出すことができます。どのような物事でも、筋道を一つ一つしっかり立てることにより、解決への道筋が明白になります。即ちプロセスが大切なのです。

数学を学ぶ本来の意味は、**社会で必要とされる「論理的思考」を身に付けること**です。答えを合わせれば良いという結果だけを追い求めるものではありません。

ところが、実際は何のために勉強しているのかが問われているのでなく、**「勉強のための勉強」**になってしまっており、先を見据えた取り組みが出来ていません。これは親の勉強に対する考えの反映ではないでしょうか？

今の小学生や中学生の親の価値観は、結果さえ良ければという**「安易さ！？」**と疑わざるを得ません(^_^;) そして、**もう一つ「優しさが美德！」**と考えているのではないのでしょうか？

でも、子ども達を取り巻く世界を見ると、これからは**「勇気、覚悟、独創！！」**だと考えています。

この**「安易さ、優しさが美德！！」**という「時代遅れの考え」（あえて時代遅れと書きます）から脱却するためには、子どもだけでなく親も一緒に変化・成長しなくてはなりません。

すなわち親の姿勢が、子ども達が豊かな人生を送れるかどうかの鍵になるのです。

時代遅れと言いますと、「答えが一つ」という学校教育にも大いに問題があります。

そうです、社会に出れば正解など用意されていません。自分で考え行動を起こすしかないのです。

幸いなことに、育脳トライアルには学習教科の基礎・基本だけでなく、○×でない問題が多く出題されています。これは、子供たちの柔軟な発想や体験から来る答を尊重し、子ども達が自分の考えに自信を持たせることを意図としているだけでなく、

日本の学校教育では、答えが一つ！

に対して警鐘を鳴らしているのです。

社会に出れば、答えが一つでないのは当たり前の事実です。

ところが、日本の学校教育では○か×のどちらか！

朝日新聞の「声」の欄に下記のような大学院生の投稿がありました。

用意した正答探す教育 再考を

大学院生

「就職活動」の記事を目にする度、ため息が漏れる。京都府内の大学・短大生の就職内定率は昨年12月で6割未満だという。私は運良く内定を得たが、自分の就活を振り返ってみると、霧の立ちこめる中をとにかく走らなければならぬような、不安な気持ちがい起こされる。

学校にいた頃は答案用紙を正しく埋めるだけで良かった。先生の好む解答を答えていればよかった。そうやって私たちは「用意された答えを見つける教育」を受けてきたのだ。いつも誰かが「正解」を用意しており、自分なりの

「最適な解答」を見つけることなく、求められてはいなかった。

そんな中、就職活動が始まった段階で急に「何が出来て、どうしたいの？」と問われても、戸惑う。社会における自分の役割について思いを巡らせる機会など、わたしたちにはほとんどなかったのだから。それなのに内定が出るまで延々と、まだよく分からぬ自分を売り込む履歴書を書くことになる。

学校から社会に一步足を踏み入れれば、そこには正解などは用意されていないことにわたしたちは気づく。それにもかかわらずいつまでも学生に「正解」を与え続ける日本の教育の姿勢を問いたい。

如何ですか？

答えが一つからの脱却が子ども達にとっては必要であり、

一問一答主義から決別すること＝「考えさせる教育」

ではないでしょうか？

日本の教育	世界の教育
正解はいつも一つ	正解は決して一つではない
記憶力偏重	問題を解くための枠組みや理論を学ぶ
一方通行 (先生が一方向的に教えるスタイル)	生徒同士が対話や理論を通じて結論を発展 先生が教えるばかりではない

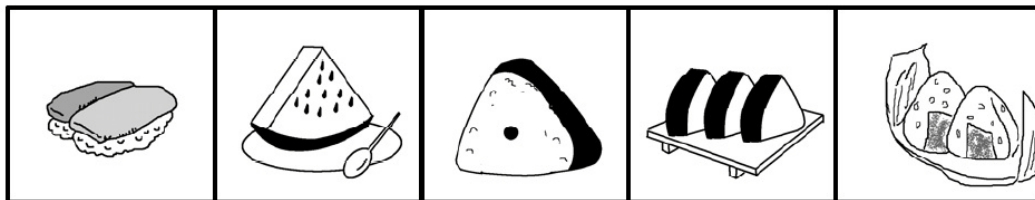
外国では博識だけでは評価されない。

オリジナルな分析と解釈+自分の意見を明確な言葉 で説明することを要求されます。

子ども達の柔軟な発想には驚かされることが多々あります。

次の「仲間はずれ」さてその答えは？

【4】なかまはずれはどれかな？ ○をつけてね



ア

イ

ウ

エ

オ

正解は「イ」だけではないのです。

子ども達から出てきた答えは「ア」・・・これだけ三角でない というものでした。

それでは、次の問題に挑戦してください。①～④それぞれ 10 秒間でどれだけ書けますか？

- ① あ〇〇ん ② た〇〇ん ③ か〇〇ん ④ さ〇〇ん

この問題、育脳トライアルに出題されています。

他に、答えが一つでない問題として、

話の順序、 創作対話、 文の欠所補完、 漢字や文字遊びなどの言語分野、
お買い物、金種の推理など

● 貨幣の種類
● 数量のかたまり
● 数量の合成・分解
● 試行錯誤と検算

育脳トライアルプリント
金種の推理

分 秒 問
3 分 8 問

例のように下の金額になるお金の組み合わせを書き入れよう

【使用するお金の種類】
100円 50円 10円 5円

① 17円	② 123円	③ 200円
④ 121円	⑤ 222円	⑥ 100円
⑦ 215円	⑧ 105円	⑨ 119円

● 題意の理解
● 貨幣の価値と質量感
● 数の合成・分解
● 試行錯誤及び検算
● 組み合わせの発見

育脳トライアルプリント
お買い物

分 秒 問
3 分 3 問

例のように財布の中のお金で買える物の組み合わせは？
(下のメニューから1個ずつ2種類以上選んでね 組み合わせは自由)

例

アイウエカ
アイウエカ
アイウエカ

< お買い物のメニュー >

アイシングクリーム 10円	ケーキ 15円	キャラメル 20円	アイス 30円	キャンディー 35円	ソフトクリーム 40円
ジュース 50円	フランクフルト 55円	ビスケット 70円	ホットドッグ 80円	ピザ 105円	ケーキ 120円

それでは、「育脳トライアル」には、制限時間がありますので出題していませんが、次のような問題は如何でしょうか？

$E = 25$ のとき、 $e = 5$

では、 $D = 16$ のとき $d = ?$

4 以外の答えは、いくつ考えられますか？

育脳寺子屋は

学ぶ = 成長する (社会で役立つ)

という意味での「学び」を大切にします

いずれにしても、ほとんどの子が「答えは一つ」の世界にどっぷりつかっている中で、「答えは一つではない」という考え方を身につけていくことにより、子ども達の物事に対する見方が大きく変わり、大人になった時に大きく花を咲かすことでしょう。

中学部・入室時間厳しくしています！

「はい、育脳トライアルの準備をして！ 入り口の鍵、かけま〜す」

今、中学部では、授業の始まる6時50分までに教室に入らないと、授業を受けることが出来ません。

今までに、何度も授業の始まる時刻に遅れないようにと注意してきましたが、必ず遅れてくる生徒がいます。それも2～3分の遅れです。

勿論、正当な理由がある場合は認めています。なぜ遅れたのかを尋ねると、本人に遅れないようにしようという気持ちがあれば回避できた事由なのです。

ガチャ、ガチャ 入口の戸のノブを回す音がしています。
開けてやりたい気持ちを鬼にして無視します。

「あっー、帰らはった～。もうちょっと粘ったらよかったのに！」
教室にいる生徒の声です。

「今後は時間を守らない生徒は入れないよ！」

「・・・・・・・・」

翌日、教室に入れなかった生徒が一番早く教室にやってきました。
来られるのです、遅れることなく。

なぜ、時間厳守にこだわっているのかと言いますと、良い結果を出している生徒は、いつも遅れることなく5～10分前には入室しているからです。すなわち、時間を有効に使うことの大切さを知っているのです。

社会に出れば、約束時間の10分前に指定の場所に赴くのは常識です。相手を待たすということは、その人の時間を無断で使っていることになります。

中学生にはそのようなことも話しています。社会人になった時、人として信頼してもらえるようにと。

小学生にも、お願い！！

出来るだけ4時に入室を。(できるだけと書いていますのは、距離的に遠方の生徒もいますので)

5時、間際の遅い時間に入室する生徒は、時間を気にしてなのか、落ち着いて机に向かえないことが多々あり、また6時30分を過ぎますと、中学生が入室してきますので、その日の学習予定が終了していなくても、時間延長をして対処することも出来ません。従って、5時までの入室は認めています。しっかり授業を受けるためにも少しでも早く入室するように！！

早く来すぎる生徒にもお願い

3時半に来ている生徒がいますが、これは早すぎ！！です。せめて授業の始まる15分前の3時45分頃に入室するように、ご家庭でもご指導をお願いします。